

武雄市 治水関連の主な事業

令和5年 当初予算
〔R5.2.20発表〕

同じ被害を二度と繰り返さないために

治水対策

をさらに前へ

令和4年度

7事業

1億1,590万7千円

令和5年度

17事業

1億5,472万円



治水対策をさらに進める

令和5年度

さらにためる

ため池の活用

ため池しゅんせつ
(4箇所)

ため池協力金
新設

ため池水位標
設置

田んぼダムの拡大 (R4) 165ha ⇒ (R5) **188** ha
松浦川流域でも実施

雨水をためる

市民のタンク購入補助
(4~20万円/件)

貯留広場整備補助
(上限 100万円/件) など

遊水公園整備 (平時) 地域の憩いの場 ⇒ (大雨時) 浸水を軽減

さらにながす

河川のしゅんせつ (市河川14箇所) 広田川周辺の排水対策 (排水路整備)

万々に備えて

水災補償保険加入に補助 15,000円/件

令和4年度

緊急対策

ためる

ながす

おくる

貯水量

140万m³

を目指す

11 住み続けられる
まちづくりを



武雄市治水対策計画を策定

(市全域を対象)

六角川の特定期都市河川の指定を受け

床上浸水ゼロに向けた **ロードマップ** を市民に見える化

(いつまでに、何をやるか、その効果)

(R6年3月策定)

気候変動対応

モデル都市構想を策定

(特に浸水リスクのあるエリアを対象)

浸水しても生活が継続できる都市のすがたを提案

(R6年3月策定)

治水推進体制を強化

市の治水関連事業を治水対策課に集約

(課5名体制に増強)

事業のスピードアップを図る